

私立大学情報教育協会

平成26年度 **大学職員情報化研究講習会**

基礎講習コース報告

D1班

大学の役割ってなんだろう？

- COC (Center of community)
- グローバル化
- 特色ある専門性をもった大学に
- 学びなおし (生涯学習)

⋮

上記以外にも様々な **社会のニーズ** が・・・

社会のニーズ



大学改革



教職協働

それに応えるために、
大学は何をしなければならないのか

「社会のニーズに対応した 大学改革を推進する職員の育成」

現状

- 変化に適応する意識が低い。
- 業務が目的となっている。
- 評価するものがない。
- 改革の方法がわからない。

解決策

- 変化に適応する意識が低い。
- 業務が目的となっている。
- 評価するものがない。
- 改革の方法がわからない。

① 現状を知る。

現状を説明できるようにする。
客観的な指標を基に
改善につながるよう提案、実行する

② 情報共有、目的再認識を行う会議、 パフォーマンス意識 (効率化) →IR体制の整備

③ このような講習会に参加する

④ 職員の評価指標

④ 職員の評価指標

入職一年後の職員に求める到達度

- 課内の業務を理解し、業務効率化の工夫をする。
- 他の職員と連携を意識して業務を遂行できる。
- ⋮

評価指標の項目例

- 語学力
- 社会情勢の理解度
- 実行力**
- 協調性**
- 問題発見能力**
- ⋮

定量的な評価の指標

- 語学力**
ex TOEICの点数、
- 社会情勢の理解度**
ex 時事問題テストの点数、

定性的な評価の指標

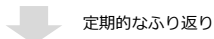
入職1年後の職員を対象としたループリリック例

入職1年後の職員に 到達目標	特性	4	3	2	1
の業務を理解 業務効率化の めをする。 の職員と連携を 意識して業務を遂 行できる。 ⋮ ⋮	目的を理解する姿 勢	指示を与えられる度 に業務の目的と組織 に及ぼす影響を確認 することができた。	指示を与えられる度 に業務の目的を確認 することができた。	指示を与えられる際 に業務の目的を確認 することもあった。	指示を与えられ て目的を確認す ることがなかった。
	時間を管理する	⋮	⋮	⋮	⋮
	コミュニケーション能力	⋮	⋮	⋮	⋮

ICTの活用

ポートフォリオの活用

定性的な評価と定量的な評価のデータをポートフォリオに蓄積



定期的な振り返り

- 経年的に**、傾向や不足しているところを把握。
- 成長の度合い**を実感。

社会ニーズに対応した
大学改革を推進する**職員**



全教職員で大学改革に取り組む体制の構築